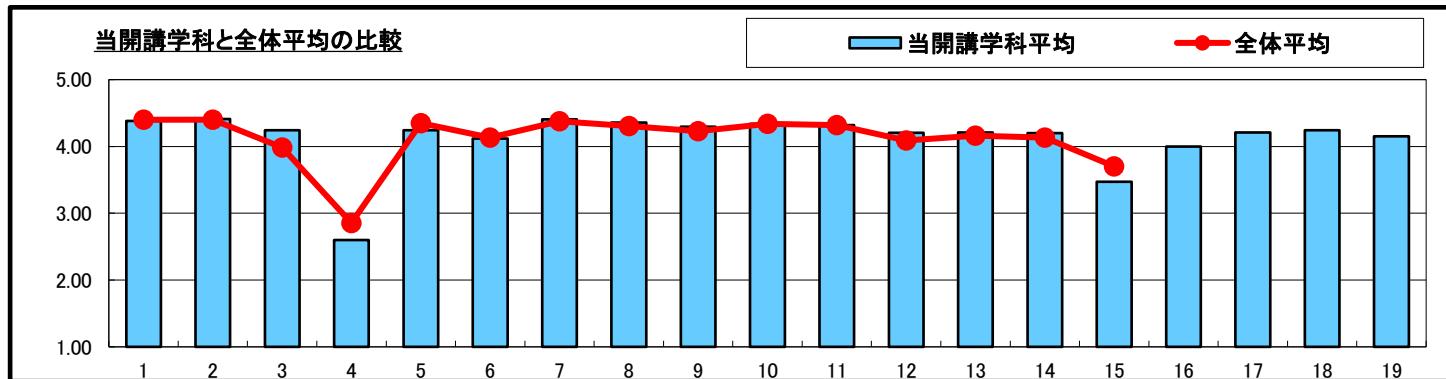


# 2024年度前期 開講学科別集計結果表

常葉大学

開講学科	作業療法学科					履修者数	432	
						回答者数	266	
学年 マーク	回答者数／構成比 (%)							
	1年	2年	3年	4年		無効回答		
	45	86	134	1		0		
	16.9	32.3	50.4	0.4		0.0		
No.	設問文			平均	回答者数／構成比 (%)			
	5	4	3	2	1		有効回答	無効回答
とても そう思う	やや そう思う	どちらとも いえない	あまりそう 思わない	全くそう 思わない				
<b>▼全学部共通の質問項目</b>								
1	学修環境（プロジェクタ・音響・空調・照明・静謐性）は良好であった	4.38	133 50.0	109 41.0	19 7.1	3 1.1	2 0.8	266 0
2	クラスサイズ（受講者数）やグループサイズは適切であった	4.41	140 52.8	100 37.7	20 7.5	4 1.5	1 0.4	265 1
3	周りの学生の熱意が感じられた（熱心に授業に参加していた）	4.24	117 44.0	108 40.6	31 11.7	9 3.4	1 0.4	266 0
<b>▼学部レベルの質問項目</b>								
4	この授業に対する授業時間外学修にどの程度の時間を費やしましたか（1回の授業の前後）	2.60	2時間以上 35 13.2	1時間以上 2時間未満 24 9.1	30分以上 1時間未満 70 26.4	30分未満 1時間未満 72 27.2	全くして いない 64 24.2	265 1
5	シラバスに則した内容の授業が行われていた	4.24	122 45.9	102 38.3	33 12.4	3 1.1	6 2.3	266 0
6	この科目の難易度は適切であった	4.12	102 38.3	111 41.7	41 15.4	6 2.3	6 2.3	266 0
7	この科目は学部・学科の学びを深める上で有益であった	4.41	139 52.3	105 39.5	16 6.0	3 1.1	3 1.1	266 0
8	この科目は自らのキャリア形成や将来を考える上で役立った	4.36	132 49.8	103 38.9	25 9.4	3 1.1	2 0.8	265 1
9	【対面授業の場合】 この科目は対面で受講することが適切であった 【ポータルサイト等を活用した授業（オンライン授業）の場合】 この科目はオンラインで受講することが適切であった	4.29	139 52.5	77 29.1	38 14.3	10 3.8	1 0.4	265 1
<b>▼教員個人レベルの質問項目</b>								
10	教員の話し方は明瞭で聴き取りやすかった	4.34	135 50.8	99 37.2	22 8.3	7 2.6	3 1.1	266 0
11	板書、スライド、配布資料などは適切であった	4.32	136 51.7	90 34.2	26 9.9	7 2.7	4 1.5	263 3
12	学生に質問や意見を求める、発表の機会を設けるなど授業への参加を促していた	4.21	118 44.9	95 36.1	41 15.6	4 1.5	5 1.9	263 3
13	学生の反応や理解を確認しながら授業を展開していた	4.21	117 44.2	101 38.1	37 14.0	6 2.3	4 1.5	265 1
14	必要に応じて学生の受講態度への注意を適切に行っていた	4.20	115 43.4	102 38.5	36 13.6	10 3.8	2 0.8	265 1
15	この授業のシラバスを読みましたか	3.47	十分に 読んだ 58 21.8	よく読んだ 84 31.6	どちらとも いえない 73 27.4	ほとんど 読まなかった 27 10.2	全く読んで いない 24 9.0	266 0
<b>▼学科設問</b>								
16	この科目の到達目標に対する自分の達成度	4.00	83 31.4	111 42.0	59 22.3	9 3.4	2 0.8	264 2
17	（作業療法学科専門科目のみ）この科目を受講して、臨床実習に向けた自分の意欲がどう変化したか	4.21	98 37.0	131 49.4	32 12.1	2 0.8	2 0.8	265 1
18	（作業療法学科専門科目のみ）この科目を受講して国家試験に対する理解がどう変化したか	4.24	98 37.0	139 52.5	23 8.7	4 1.5	1 0.4	265 1
19	（作業療法学科専門科目のみ）この科目を受講して自分の将来像に影響があったか	4.15	100 37.6	118 44.4	39 14.7	6 2.3	3 1.1	266 0



## 2024年度前期授業アンケート 学科別集計結果表に対する講評

学科／課程	作業療法学科
講評者	遠藤浩之

設問	講評
設問 1～3 「全学部共通の質問項目」について	「良好な学修環境」「適切な受講者数」「学生の熱意」の質問に対する回答はいずれも、「1：全くそう思わない」「2：あまりそう思わない」をあわせた割合が5%未満であった。よって、これらの要因における学生の不満は低いと思われる。引き続き学習環境の維持に努めたい。
設問 4～9 「学部レベルの質問項目」について	「シラバスに則した授業内容」「適切な難易度」「科目の有益性」「キャリア形成へのつながり」「対面あるいはオンラインでの受講の適切さ」の質問に対する回答はいずれも、「1：全くそう思わない」「2：あまりそう思わない」をあわせた割合が5%未満であった。よって、現在の授業の質に対する学生の不満は低いと考える。「授業時間外学修の時間」は「1：全くしていない」「2：30分未満」をあわせた割合が50%を超過していた。この時間数は決して多いとは言えないことから、学生の「授業時間外学修の時間」を増やす取り組みが課題となる。
設問 10～15 「教員個人レベルの質問項目」について	「明瞭な話し方」「適切な教材」「授業参加の促進」「学生にあわせた授業展開」「必要に応じた注意」の質問に対する回答はいずれも、「4：ややそう思う」「5：とてもそう思う」をあわせた割合が80%を超過していた。従って、現在の授業について学生は概ね満足していると考えられる。 「シラバスを読んだかどうか」の質問に対する回答は、「4：よく読んだ」「5：十分読んだ」をあわせた割合が約50%であった。従って、受講登録時にシラバスを読む、授業開始時にシラバスを確認するなど、講義内容を十分理解して受講登録、受講するように働きかける必要がある。
設問 16～ 「学科設問」について（該当学科のみ）	「臨床実習に向けた意欲の変化」「国家試験への理解」「自分の将来への影響」の質問に対する回答はいずれも、「4：ややそう思う」「5：とてもそう思う」をあわせた割合が80%以上であった。従って、作業療法学科で提供されている授業は実習、国家試験、自分の作業療法士としての将来像に良好な影響を与えていると思われる。「到達目標に対する達成度」の項目は「3：どちらともいえない」「4：あまりそう思わない」が25%程度であった。今後さらに学生の達成度を高める工夫や取り組みが必要と考える。